

令和4年度第1回社会教育委員の会議

令和4年4月18日（月）午後6時00分から

市役所第二庁舎 8階・801会議室

次 第

1 議題

- (1) 会議録の承認について
- (2) 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールについて
- (3) 管外視察研修について
- (4) 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員について
- (5) 令和4年度社会教育委員の会議等日程について
- (6) その他

2 報告

- (1) 令和4年度予算概要について
- (2) 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員会研修会について
- (3) 令和3年度三者合同会議の報告について
- (4) その他

3 資料

- | | |
|----------------------------------------------|-----|
| (1) 社会教育委員の会議会議録（令和3年度第6回） | 資料1 |
| (2) 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールとは | 資料2 |
| (3) 令和4年度管外視察研修について | 資料3 |
| (4) 令和4年度社会教育委員の会議等日程について | 資料4 |
| (5) 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員会研修会報告書 | 資料5 |
| (6) 令和3年度三者合同会議報告書 | 資料6 |
| (7) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会の開催について | 資料7 |

4 今後の予定

第2回社会教育委員の会議

日時：5月23日（月）午前9時30分～（予定）

場所：801会議室

地域学校協働と コミュニティ・スクール

2022年4月18日（月）

東京学芸大学：総合教育科学系

柴田 彩千子

学習指導要領の改訂

改定の前史

- 道徳教育の改革「特別の教科 道徳」：議論する道徳
2013年2月：教育再生実行会議が教科化を提言

- 主体的・対話的で深い学びの充実
- 社会に開かれた教育課程

「社会に開かれた教育課程」とは？

(教育課程企画特別部会「論点整理」より)

- ①社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会づくりを目指すという理念を持ち、教育課程を介してその理念を社会と共有していくこと。
- ②これからの社会を創り出していく子どもたちが、社会や世界に向き合い関わり合っていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化していくこと。
- ③教育課程の実施にあたって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

→一層「開かれた学校づくり」「学社連携」が求められる

学校開放をめぐる法的根拠

- ・学校教育法137条
- ・社会教育法44条
- ・社会教育法48条
- ・スポーツ基本法13条

「学校教育上支障のない限り」において実施

地域社会から学校への支援

教育活動への支援

- ・ 学校支援ボランティアの行う学校支援
- ・ 社会教育施設から学校への支援
- ・ 企業から学校への支援「教育CSR」
- ・ NPO等の地域組織から学校への支援、等

*前提としての「開かれた学校づくり」

事例：地域連携担当教職員の配置→教頭・副校長の業務軽減へ

地域・保護者による 学校経営への支援（制度）

- ・ * 学校評議員制度
- ・ * 学校運営協議会制度
→ 地域運営学校
（コミュニティ・スクール）等

コミュニティ・スクールとは

2002年度～2004年度：文科省

「新しいタイプの学校運営の

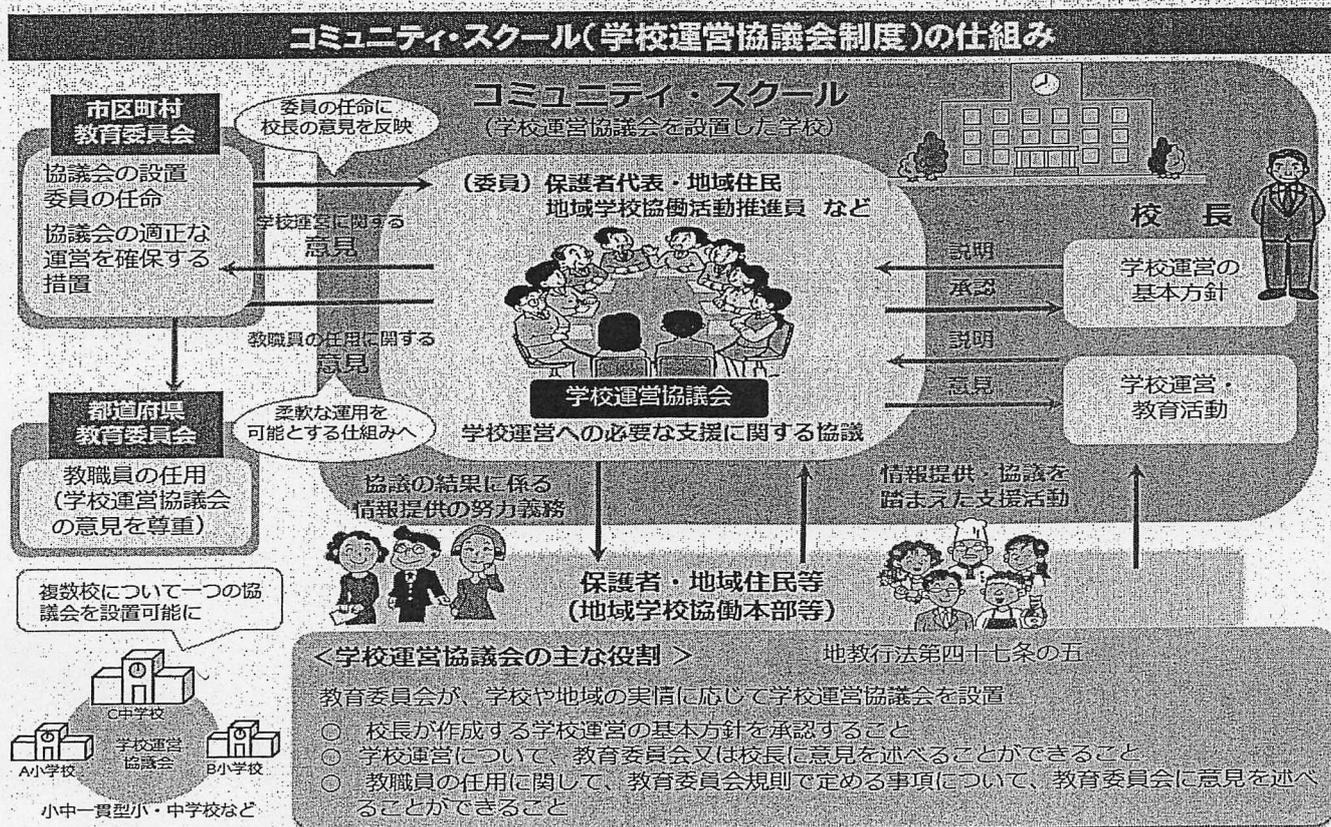
在り方に関する実践研究」

＝コミュニティ・スクールについての実践研究

●全国7件9校が参加

●首都圏の実践研究校：

習志野市立秋津小学校と足立区立五反野小学校



コミュニティ・スクールの指定状況

- 5,432校（平成30年4月1日） → 令和3年：11,856校（導入率33.3%）

校種	指定校数	増加数（前年度比）
幼稚園	147	32園増
小学校	3265	965校増
中学校	1492	418校増
義務教育学校	39	15校増
中等教育学校	1	0校増
高等学校	382	317校増
特別支援学校	106	85校増
合計	5432	1832校増

地域学校協働活動とは

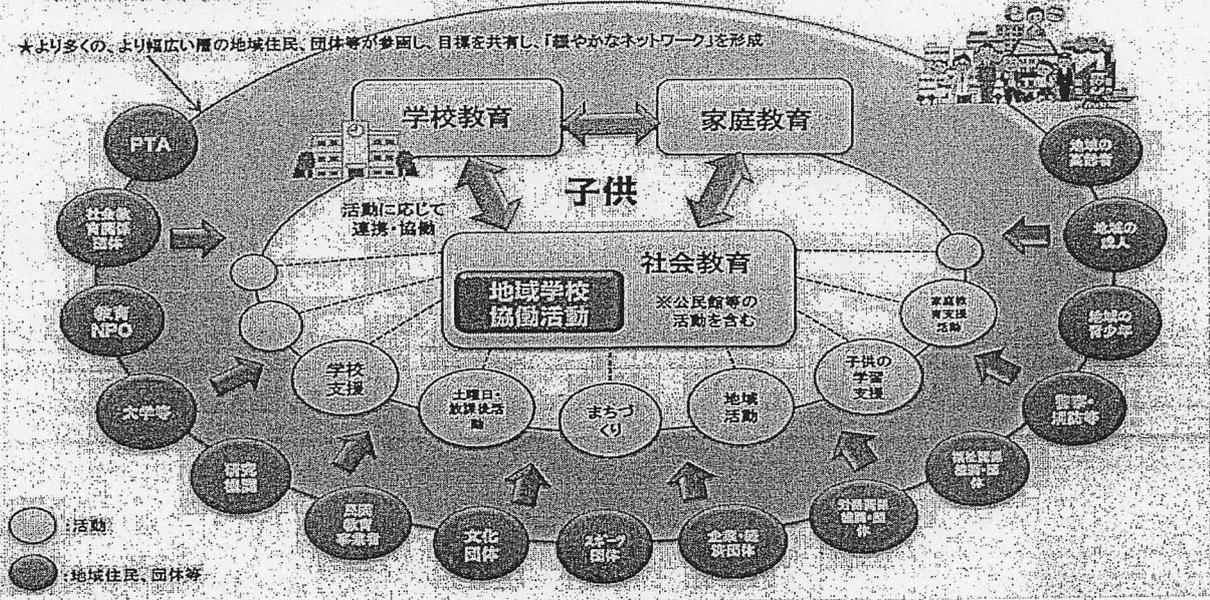
- 「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

- （文部科学省HPより、別資料参照）

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地域団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



様々な地域学校協働活動

定義

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして、以下の様々な取組を組み合わせて実施する活動

学びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習

- ◆ 地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- ◆ 「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- ◆ 地域の産業や商店街の調査体験学習、郷土の伝統・文化芸術学習 など



放課後子供教室

- ◆ 地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



地域未来塾

- ◆ 中学生・高校生等を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



家庭教育支援活動

- ◆ 寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり など



学校に対する多様な協力活動

- ◆ 登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供（土曜学習応援団）など



地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

- ◆ 地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など



社会教育法の改正

- 平成27年12月の中教審答申（地域と学校の連携・協働）を受け、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を全国的に推進するため、社会教育法を改正し、同活動に関する連携協力体制の整備や「地域学校協働活動推進員」に関する規定を整備。これにより、幅広い地域住民等の協力を得て、社会総掛かりでの教育を実現し、地域を活性化。

• （文部科学省HPより：別資料参照）

地域学校協働活動の推進に際して

• 社会教育の役割を意識すること

- × 地域から学校への一方向的な支援に終始する事
- × 「教員の働き方改革」を推進する一方策に終始する事



- 活動者（学校支援ボランティア）の社会教育施設等での
- 学びを学校支援に活かし（学びの成果を適切に活かす）、活動者自身の学びが深化する場となるような取組へ！

学校と地域社会との 双方向的な支援関係 = 協働関係

学校支援ボランティア（住民・多様な地域組織）が

* 「地域(社会)貢献」の視点

* 「自己実現」「豊かな人生」の視点

を有したとき、協働関係が構築される。



* 地域の継続的な学校教育活動への参画による
「学社連携」の強化へ

学校と地域の協働関係①

学校支援ボランティアの「地域貢献」の視点

多くの住民や組織が学校を支援する

= 地域の繋がりの強化

= コミュニティ形成

(防災・防犯、子供と大人のナナメの関係性

の構築による子育て環境の整備)

地域の社会教育を支援する

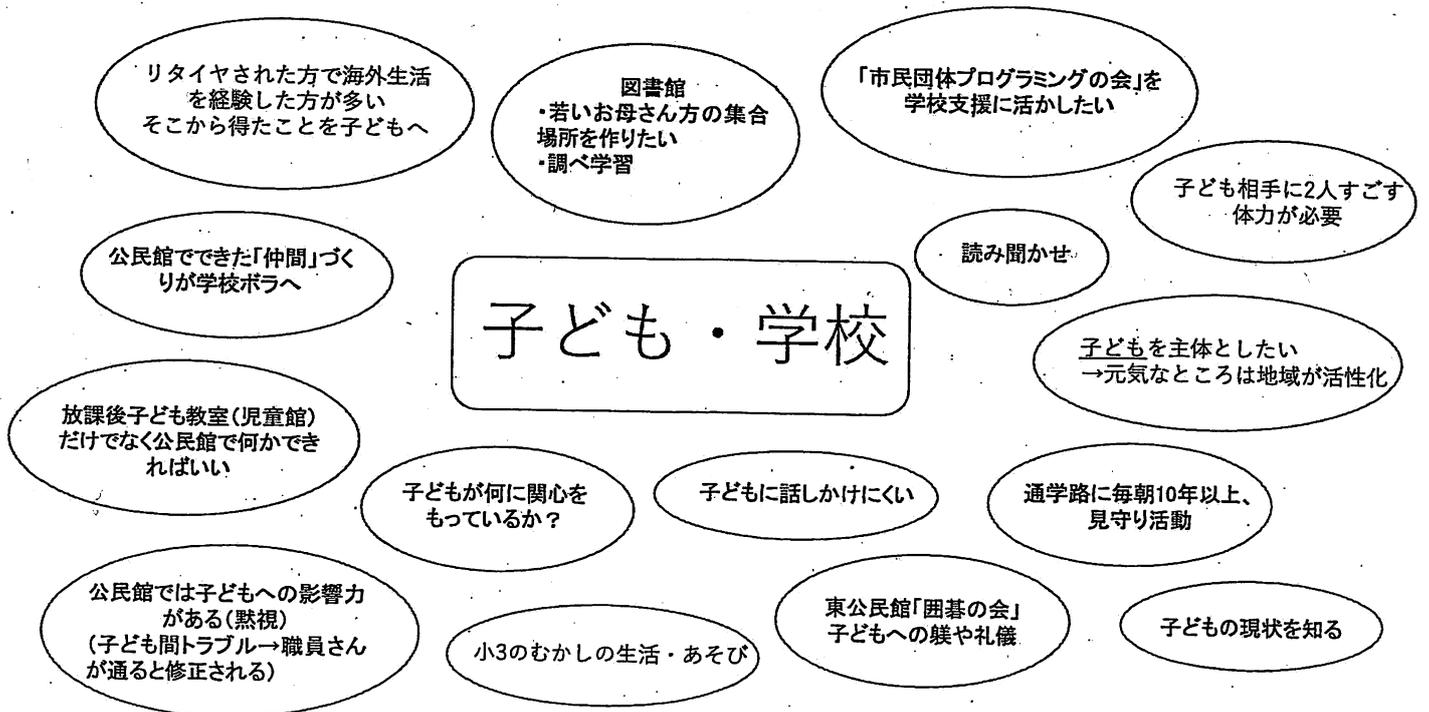
(例：国分寺市の地域会議、川崎市の地域教育会議など)

学校と地域の互助的關係

学校支援ボランティアの
「自己実現」「充実感」の視点

「生涯学習ボランティア」の場としての学校
教育基本法第三条

「学びの成果を適切に活かす社会づくり」
NPOの場合「NPOのミッション」の実現化
企業の場合「教育CSR」の実践の場



小金井市「公民館のあすを考える会」ワークショップ
(2019年5月、於：公民館貫井北分館)より

令和4年度管外視察研修について(案)

- 1 日 時 7月4日(月)～8日(金)の週で相手市に依頼
- 2 交通手段 マイクロバス
- 3 目 的
 - (1) 小金井市の「地域学校協働活動」の基盤の充実を図るために、近隣市に訪問して具体的な活動状況をお聞きする。
 - (2) 学校と地域が連携・協働して、子どもも大人も学べる小金井市らしい地域学校協働活動の確立を目指す。
- 4 内 容
 - (1) 市役所の担当部局職員に学校運営の現状を説明していただく。
 - (2) 実務経験者である統括コーディネーター、CS委員長、学校保護者会代表などに、具体的な活動状況や取り組みをお聞きする。※ コロナ感染拡大防止の観点から、小中学校への訪問は行わない。
- 5 視察候補先
 - (1) 三鷹市 担当部署(教育政策推進室)
学校3部制について
 - (2) 小平市 担当部署(地域活動支援課)及び統括コーディネーター等より、小平市の地域支援体制や学校支援本部の運営等について学ぶ。
 - (3) 清瀬市 担当部署(生涯学習スポーツ課)及び学校支援本部の役員、統括コーディネーター等より、学校と地域との連携・運営等について学ぶ。

資料 4

令和4年度社会教育委員の会議等日程

月 日	曜日	内 容	時 間	場 所
4/18	月	第1回社会教育委員の会議	18時00分～	801会議室
4/23	土	都市社連協定期総会	13時00分～	府中市市民活動センター タープラッツ
5/23	月	第2回社会教育委員の会議 (※)	9時30分～	801会議室
7月上旬		第3回社会教育委員の会議 (※) (管外視察研修)	未定	未定
8/22	月	第4回社会教育委員の会議 (※)	9時30分～	本庁舎第一会議室
10/17	月	第5回社会教育委員の会議 (※)	9時30分～	801会議室
10月～ 11月		第5ブロック研修会 <ブロック幹事市：武蔵野市>	未定	未定
11月頃		三者合同会議(第6回社会教育委員 の会議) <担当：図書館>	未定	未定
11/10(木)～ 11(金)		関東甲信越静社会教育研究大会 山 梨大会 <希望者2名参加>	未定	甲府総合市民会館
12/10	土	都市社連協交流大会・全体研修会	未定(例年午 後開催)	昭島市公民館
1/23	月	第7回社会教育委員の会議 (※)	9時30分～	801会議室
2/20	月	第8回社会教育委員の会議 (※)	9時30分～	801会議室

報告書

福井高雄

令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会

交流大会・社会教育委員会研修会

日時：令和3年12月11日（土） 13：30～16：30
 会場：府中市 市民活動センター プラッツ（バトルホール5階）
 開催市；府中市（府中市文化スポーツ部文化生涯学習課）
 都市社連協統一テーマ：「明日に向け、学びの輪を広げよう！！」

～地域の魅力 グローバル社会で再発見～

参加者：26市3町の社会教育委員・職員 [参加者は、約90名]
 小金井市参加者：福井 職員：関・小堀 = 3名

〔挨拶・祝辞〕

開会の辞 谷部 憲一（都市社連協 副会長）
 挨拶 長畑 誠（都市社連協 会長）
 来賓祝辞 酒井 泰（府中市教育委員会 教育長）
 梶野 光信（東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課 教育主事）

祝辞紹介 全国社会教育委員連合

〔人と地域の新しいつながり〕〔青少年教育として生きる力の育成を社会教育委員が貢献〕

〔交流大会〕

1、【各ブロック研修会の実施報告】

- 第1ブロック幹事：青梅市 「人口減少地域を支える社会教育」（63名）
 [地域資源（森林）生かした学びの実践や、盆踊りを通じて、地域の人をつなげる役目を]
- 第2ブロック幹事：武蔵村山市 「伝統文化を未来につなげる社会教育」（36名）
 [拝島日吉神社の榊祭での祭礼囃子や、武蔵村山大島紬の郷土の文化芸能・工芸の伝承]
- 第3ブロック幹事：稲城市「シビックプライドで活性化する地域コミュニティ」（30名）
 [地域を良くして、住み続けたいと思う街を目指して、自然・文化財・歴史を次世代に]
- 第4ブロック幹事：清瀬市 「ICT普及時代における地域づくり」（30名）
 [ICTを生かしたオンラインのコミュニケーション][情報をつなぐ生涯学習活動を行う]
- 第5ブロック幹事：狛江市 「新しい生活様式における社会教育の実践」（27名）
 [寺社は社会教育施設の役割りを担っている][コロナ終焉後の新たな人とのつながりを]

2、映像とトーク 「武蔵国府太鼓連盟」（響会） 講師：佐藤 祐三（連盟会長）

- ・府中市の太鼓の郷土芸能を受け継ぎ発展させるために、昭和57年より演奏活動を。
- ・映像にて、“乱れうち・国府のうたげ”など鑑賞。子どもから大人まで一緒に共演。

〔閉会式〕 閉会の辞 篠崎光正（都市社連協 副会長）

以上

2022年1月12日

報告書

福井高雄

令和3年度 三者合同会議

〔第7回 社会教育委員の会議：兼務〕

日時：令和4年1月12日（水） 10:00～11:45

会場：小金井市第二庁舎801会議室

担当：公民館運営審議会 委員

参加者：委員22名、生涯学習部職員8名

- ・社会教育委員の会議 委員（石原・富田・諏訪・金澤・北澤・福井・森本・鈴木）
- ・図書館協議会 委員（大串・大塚・諏訪・大久保・奥村・高橋・藤森）
- ・公民館運営審議会 委員（嵯峨山・橋本・渡邊・本川・吉田・坂内・川原）

〔開会式〕

司会 鈴木 遵矢（公民館 館長）

開会の挨拶： 藤本 裕（生涯学習部 部長）

1、講演：テーマ「公民館を育てる仕組み、支える仕組みを考えよう」

講師：菅沼 七三雄（第35期 公民館運営審議会委員）

【内容】 小金井市公民館の歴史と活動事業をまとめた「資料」を参考に講義。

- ① 小金井市公民館は、社会教育の実践の場として、69年目を迎える。
- ② つどい、学び、つながる地域の拠点として、学びの活動体験を報告。
- ③ 公民館の主催事業は、企画実行委員制度や準備会を、市民主体に運営。
- ④ 貫井北センターの発足の経緯と、公民館の運営体制を解説。

2、グループディスカッション討議

【発表】 第4チーム：6人（福井・富田・大塚・嵯峨山・橋本・本川）

- ① 公民館の活動事業を、市民への広報の徹底
〔参考：国分寺市公民館の広報誌「けやきの樹」〕
- ② 公民館職員の研修と、計画的な人材配置と育成
〔国分寺市や小平市の公民館職員と公民館活動情報を共有〕
- ③ 公民館利用のサークル団体や、イベント事業の紹介
〔公民館センターまつりの開催を、近隣住民にチラシ手配りにて広報〕
- ④ 公民活動の講座等を、オンラインにて情報共有
〔公民館内においても、Wi-Fi 中継機の活用〕

〔閉会式〕

・閉会の辞 鈴木 遵矢（公民館長）

以上

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

会 員 各 位

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

会長 長畑 誠

(公印省略)

令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会の開催について (通知)

時下、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、都合によりご欠席される場合は、別紙委任状を各市町の担当課を通じてご提出ください。

記

1 日時

令和4年4月23日(土) 午後1時から(受付:午後0時30分から)

2 場所

府中市市民活動センタープラッツ パルトホール(府中市宮町1-100)

※駐車場は有料となります。また駐車可能台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関でお越しください(別紙参照)。

3 内容

(1) 表彰

(2) 議事 令和3年度事業報告・決算報告および令和4年度事業計画、予算等

(3) 講演 講師:玉川大学学術研究所高等教育開発センター 特任教授 笹井 宏益 様

4 その他

(1) 委任状にて定期総会にかかる質問、意見等をご提出いただく場合、令和4年4月19日(火)正午府中市事務局必着といたします。各市町の担当課が指定する日時までに、各市町の担当課へご提出ください。

(2) 本通知作成時現在、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う会場の制限がないため、各市町人数制限を設けず参加者を募集いたします。なお、今後の感染状況により会場参加人数を制限させていただくこととなる場合は、改めてご連絡します。

(3) 当日の会場の模様をWebexで配信する予定です。音声トラブル等がある可能性もあり、あくまでもメインは会場であることをご了承いただいた上で、ご希望の方はお申込みください(講演会のみWebexからの質問を受け付ける予定です。議案の投票等はいりません。)

※提出先および問合せ 東京都市町村社会教育委員連絡協議会事務局

府中市文化スポーツ部文化生涯学習課 担当: 柏木・諫山・栗原

メール syakyo01@city.fuchu.tokyo.jp

電話 042-335-4394(直通)

令和4年度

定期総会議案書

日時 令和4年4月23日(土)午後1時

場所 府中市市民活動センタープラッツ

バルトホール

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

令和4年度 定期総会次第

- 1 開会のことば 篠崎 光正（調布市）
- 2 会長あいさつ 長畑 誠（府中市）
- 3 来賓あいさつ 酒井 泰氏 府中市教育委員会教育長
梶野 光信氏 東京都教育庁地域教育支援部主任社会教育主事
氏 （一社）全国社会教育委員連合
- 4 表彰 東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰
- 5 議長選出
- 6 議 事 第1号議案 令和3年度事業報告について
第2号議案 令和3年度一般会計、特別会計収入支出決算及び
会計監査報告について
第3号議案 令和4年度事業計画（案）について
第4号議案 令和4年度一般会計収入支出予算（案）について
第5号議案 令和4年度役員（案）について
第6号議案 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大
会にかかる令和3年度実行委員会等報告について
- 7 退任あいさつ 長畑 誠（府中市）
- 8 新役員紹介及び新会長あいさつ
- 9 閉会のことば 吉田 和夫（町田市）

【社会教育委員研修会】

講演会

- 演 題 コロナ後の社会教育を考える
—これまでの蓄積と成果を踏まえて—
- 講 師 玉川大学 学術研究所 高等教育開発センター 特任教授
笹井 宏益（ささい ひろみ）様

令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会被表彰者名簿

感謝状 18 名

(敬称略)

ブロック	氏名	市町名	ブロック	氏名	市町名
第1ブロック	栗原 郁夫	青梅市	第2ブロック	二ノ宮リム さち	昭島市
	園田 陽子	青梅市		稲垣 克康	昭島市
	横手 多喜子	青梅市		吉村 薫	昭島市
	小山 夏樹	羽村市	第3ブロック	梅澤 佳子	多摩市
	市野 明	羽村市	第4ブロック	片岡 了	東村山市
	中野 菊枝	羽村市	第5ブロック	白田 紀子	武蔵野市
榎本 弘行	立川市	堀内 雄次郎		武蔵野市	
榎崎 茂彌	立川市	伊藤 輝芳		狛江市	
第2ブロック	難波 敦子	立川市		中川 康弘	狛江市

第1号議案 令和3年度事業報告について

○このことについて、次のとおり報告し、承認を求める。

1 会議等

※印は新型コロナウイルス感染症対策

No.	項 目	参加者 (人)	テーマ・内 容
1	<p>定期総会</p> <p>※会場及びオンラインで実施 開催日：4月17日(土) 時 間：13:00～ 会 場：ネッツたまぐーセンター</p>	<p>委員 40 委任状 234 事務局 41</p>	<p>(1) 令和2年度事業報告 (2) 令和2年度決算及び監査報告 (3) 令和3年度事業計画 (4) 令和3年度予算 (5) 令和3年度役員を選出・承認 (6) 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会にかかる令和2年度実行委員会報告</p>
2	<p>社会教育委員研修会</p> <p>※会場及びオンラインで実施 開催日：4月17日(土) 時 間：定期総会後 会 場：同上</p>		<p>「社会教育のつながる力を明日へ ー学びをつうじて協働する関係の構築ー」</p> <p>講師：東京大学名誉教授 佐藤 一子 氏</p>
3	<p>第1回役員会・拡大役員会</p> <p>※書面審議 開催日：5月18日(火) 時 間：13:30～ 会 場：府中駅北第2庁舎 3階会議室(当初予定)</p>	<p>回答書 提出者数 7</p>	<p>(1) 報告事項 3件 (2) 協議事項 (一社) 全国社会教育委員連合 社会教育委員の表彰者推薦について (3) その他 審議結果とあわせてブロック研修会 現状を報告</p>
4	<p>第2回役員会・拡大役員会</p> <p>※書面審議 開催日：7月20日(火) 時 間：13:30～ 会 場：府中駅北第2庁舎 3階会議室(当初予定)</p>	<p>回答書 提出者数 7</p>	<p>(1) 報告事項 5件 (2) 協議事項 ①ブロック研修会について ②交流大会・社会教育委員研修会につ いて</p>
5	<p>第1回理事会</p> <p>※書面審議 開催日：7月20日(火) 時 間：15:00～ 会 場：府中駅北第2庁舎 3階会議室(当初予定)</p>	<p>回答書 提出者数 28</p>	<p>(1) 報告事項 7件 (2) 協議事項 ①ブロック研修会について ②交流大会・社会教育委員研修会につ いて</p>

No.	項 目	参加者 (人)	テーマ・内 容
6	第3回役員会・拡大役員会 開催日：10月19日(火) 時 間：13:30～14:30 会 場：府中駅北第2庁舎 3階会議室	19	(1)報告事項 4件 (2)協議事項 ①交流大会・社会教育委員研修会について ②社会教育委員活動記録の編集について
7	第1ブロック研修会 幹 事：青梅市 開催日：11月6日(土) 時 間：14:00～16:30 会 場：ネッツたまぐーセンター	58	テーマ：人口減少地域を支える社会教育 ・ワークショップ
8	第3ブロック研修会 幹 事：稲城市 開催日：11月12日(金) 時 間：10:00～12:00 会 場：地域振興プラザ4階 大会議室	30	テーマ：シビックプライドで活性化する 地域コミュニティ ～住民の役割と行政の関り～ ・基調講演 ・事例発表
9	第4ブロック研修会 幹 事：東村山市 開催日：11月12日(金) 時 間：13:30～16:30 会 場：東村山市民センター 第1～3会議室	30	テーマ：ICT普及時代における地域づくり ・講演 ・事例発表 ・グループワーク
10	第5ブロック研修会 幹 事：狛江市 開催日：11月20日(土) 時 間：13:30～16:30 会 場：狛江市防災センター 4階会議室	27	テーマ：新しい生活様式における社会教育の実践 ・講演 ・グループ討議
11	第2ブロック研修会 幹 事：武蔵村山市 開催日：12月4日(土) 時 間：14:00～15:30 会 場：さくらホール会議室1・2	36	テーマ：伝統文化を未来へつなげる社会教育 ・第一部講演 ・第二部講演

No.	項 目	参加者 (人)	テーマ・内 容
12	<p>交流会</p> <p>※人数を制限して実施 開催日：12月11日(土) 時 間：13:30～15:00 会 場：府中市市民活動センター バルトホール</p>	124	<p>明日に向け 学びの輪を広げよう！！ ～地域の魅力 グローバル社会で再発見～</p> <p>・式典 ・東京大会実施報告 ・各ブロック研修会実施報告</p>
13	<p>社会教育委員研修会</p> <p>※人数を制限して実施 開催日：12月11日(土) 時 間：15:10～16:30 会 場：同上</p>		<p>郷土芸能を地域で受け継ぎ、発展させる ～武蔵国府太鼓の紹介とインタビュー ーク～</p> <p>講師</p> <p>武蔵国府太鼓響会会長 佐藤祐三 氏 同 会長代行 市川 彰 氏 同 副会長 伊藤三子 氏 同 役員 松村 薫 氏 同 ジュニア所属 田中礼侍 氏</p>
14	<p>第4回役員会</p> <p>※オンライン開催 開催日：1月25日(火) 時 間：10:00～11:10 会 場：府中駅北第2庁舎 3階小会議室ほか</p>	10	<p>(1)報告事項 3件 (2)協議事項 ①都市社連協表彰について ②令和4年度統一テーマ(案)について ③令和4年度事業計画・役員(案)につ いて ④令和4年度都市社連協予算(案)につ いて ⑤活動記録 実践事例について ⑥令和3年度都市社連協第2回理事会 の開催について (3)その他 令和4年度都市社連協定期総会につ いて</p>
15	<p>第5回役員会</p> <p>※オンライン開催 開催日：2月22日(火) 時 間：13:30～14:10 会 場：府中駅北第2庁舎 3階会議室ほか</p>	10	<p>(1)報告事項 2件 (2)協議事項 ①令和4年度都市社連協定期総会につ いて</p>
16	<p>第2回理事会</p> <p>※オンライン開催 開催日：2月22日(火) 時 間：15:00～16:15 会 場：府中駅北第2庁舎 3階会議室ほか</p>	51	<p>(1)報告事項 4件 (2)協議事項 ①都市社連協表彰について ②令和4年度統一テーマについて ③令和4年度都市社連協定期総会につ いて</p>

2. その他

No.	項 目	内 容
1	<p>第 63 回全国社会教育研究大会 石川大会</p> <p>※会場及びオンラインで実施（県内・県外で区分） 開催日：10月28日（木） 会 場：こまつ芸術劇場うらら</p>	<p>スローガン 今こそ攻めの社会教育を！ いよっ社会教育委員！</p> <p>研究主題 地域の未来を創る社会教育のさらなる挑戦 ～智仁勇が未来をクリエイトする～</p>
2	<p>第 52 回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会</p> <p>※会場及びオンラインで実施（都内・都外で区分） 開催日：11月11日（木） 会 場：府中の森芸術劇場</p>	<p>スローガン 明日に向け 学びの輪を広げよう！！ ～地域の魅力 グローバル社会で再発見～</p>
3	<p>（一社）全国社会教育委員連合表彰</p>	<p>受賞者 生尾 光 氏 （小平市） 第 63 回全国社会教育研究大会石川大会の中止に伴い、表彰状・筒を郵送。</p>
4	<p>「社会教育委員活動記録」の作成</p>	<p>ブロック活動報告 交流大会・社会教育委員研究大会報告</p>

第2号議案 令和3年度一般会計、特別会計収入支出決算及び会計監査報告について

○このことについて、次のとおり報告し、承認を求める。

1 令和3年度一般会計収入支出決算

収 入

(単位：円)

科目	区分	令和3年度 当初予算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	増△減 (b-a)	(参考) 決算額比較		備 考
					令和2年度 決算額 (c)	増△減 (b-c)	
分担金		725,000	725,000	0	725,000	0	25,000×29市町
繰越金		711,906	711,906	0	487,706	224,200	前年度からの繰越金
雑収入		26,000	23,911	△2,089	26,361	△2,450	社教情報売上手数料 23,904 預金利息 7
合 計		1,462,906	1,460,817	△2,089	1,239,067	221,750	

支 出

(単位：円)

区分 科目	令和3年度 当初予算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	増△減 (b-a)	(参考) 決算額比較		備 考
				令和2年度 決算額 (c)	増△減 (b-c)	
定期総会費	80,750	65,954	△14,796	3,137	62,817	消耗品等 8,204 会場使用料 0 議事録作成 57,750
理 事 会 役員会費	199,750	87,376	△112,374	67,485	19,891	議事録作成 78,375 消耗品等 9,001
交流大会費	68,750	52,110	△16,640	0	52,110	議事録作成 41,250 消耗品等 10,860
ブロック 活動費	0	210,053	210,053	181,889	28,164	第1ブロック：46,021 第2ブロック：32,056 第3ブロック：47,499 第4ブロック：45,203 第5ブロック：39,274
活動記録等 作成費	145,000	134,750	△10,250	37,356	97,394	印刷製本代 134,750
分 担 金	101,000	100,220	△780	100,440	△220	(一社)社教連分担金 及び振込手数料
総 務 費	65,000	48,937	△16,063	36,854	12,083	役員行動助成 10,000 通信運搬費 19,105 消耗品等 19,832
調査研究 ・研修費	100,000	80,000	△20,000	0	80,000	講師謝礼 社会教育委員研修会 50,000 令和3年度定期総会 30,000
特別会計 繰 出 金	370,000	100,000	△270,000	100,000	0	令和3年度 関東甲信越静社会教育 研究大会東京大会
予 備 費	332,656	0	△332,656	0	0	
合 計	1,462,906	879,400	△583,506	527,161	352,239	

2 令和3年度特別会計収入支出決算

収 入

(単位：円)

区分 科目	令和3年度 当初予算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	増△減 (b-a)	備 考
参加費	1,800,000	642,000	△1,158,000	参加費 3,000 円×214 人
負担金	100,000	100,000	0	社教連 100,000
繰入金	100,000	100,000	0	令和3年度分
繰越金	224,105	224,105	0	前年度からの繰越金
広告代	2,400,000	1,650,000	△750,000	申込み：68 件
雑収入	151,000	139,008	△11,992	大会報告書 預金利息 139,000 8
合 計	4,775,105	2,855,113	△1,919,992	

支 出

(単位:円)

区分 科目	令和3年度 当初予算額 (a)	令和3年度 決算額 (b)	増△減 (b-a)	備 考
報 償 費	291,000	212,260	△78,740	総合司会 10,000 基調講演講師 50,000 トークセッション 150,000 手土産 2,260
旅 費	60,000	2,032	△57,968	基調講演講師 964 手話(3名) 1,068
印刷製本費	495,000	402,820	△92,180	大会冊子 177,100 大会報告書 225,720
食 糧 費	124,240	16,643	△107,597	弁当 12,940 お茶、水等 3,703
会 場 費	1,083,920	434,700	△649,220	府中の森芸術劇場(どりーむホ ール、平成の間)
消 耗 品 費	145,000	143,955	△1,045	演台花 10,000 吊り看板 93,500 事務用消耗品 40,455
通 信 費	295,600	35,329	△260,271	手数料、郵送代等
保 険 料	45,000	0	△45,000	
委 託 費	1,842,500	801,695	△1,040,805	取扱手数料等 117,700 大会システム管理費 132,000 あっせん人件費 24,750 開催要項印刷 275,000 各種利用券発送 4,785 開催要項発送費 30,030 請求書発行手数料 9,680 議事録作成 57,750 録画動画編集 150,000
有 線 回 線 関 係 費	53,000	0	△53,000	
実行委員会費 関プロ理事会費	24,000	400	△23,600	消耗品
予 備 費	315,845	0	△315,845	
合 計	4,775,105	2,049,834	△2,725,271	

3 総収支決算

一般会計分

(収 入) (支 出) : (差引残高)
1,460,817 円 — 879,400 円 = 581,417 円

581,417 円は、令和4年度へ繰り越します。

特別会計分

(収 入) (支 出) (差引残高)
2,855,113 円 — 2,049,834 円 = 805,279 円

805,279 円は、令和4年度一般会計へ繰り入れます。

○上記のとおり報告します。

令和4年4月23日

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

会長 長畑 誠

会計 中村 洋子

会計監査報告

令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会の
会計について監査の結果、執行状況に相違ないことを
確認しました。

令和4年4月13日

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

会計監査 川津 紘順

会計監査 安東 道正

議案第3号 令和4年度事業計画(案)について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

令和4年度事業計画(案)について

◎統一テーマ 「市民のニーズを活かす・つなげる社会教育
～対話からつくろう これからの「学び」～」

1 会議等

No.	項目	時期・回数	会場	内容
1	定期総会	R4. 4. 23 (土)	府中市市民活動センター プラッツ バルトホール	事業・決算報告 事業案・予算案 表彰
2	理事会	2回 R4. 7. 12(火) R5. 2. 14(火)	アキシマエンス (昭島市教育福祉総合センター)	総会付議事項・ブロック 活動実施計画等審議
3	拡大役員会	3回 R4. 5. 17(火) R4. 7. 12(火) R4. 10. 18(火)	アキシマエンス (昭島市教育福祉総合センター)	ブロック活動・交流大会 実施計画等審議
4	役員会	5回 R4. 5. 17(火) R4. 7. 12(火) R4. 10. 18(火) R5. 1. 24(火) R5. 2. 14(火)	アキシマエンス (昭島市教育福祉総合センター)	理事会付議事項等審議
5	ブロック活動		①福生市 ②立川市 ③日野市 ④小平市 ⑤武蔵野市	5ブロックで実施
6	交流大会 全体研修会	R4. 12. 10 (土)	昭島市公民館小ホール	ブロック研修報告ほか

2 「社会教育委員活動記録」の作成

3 社会教育研究大会への参加

- ・第64回全国社会教育研究大会 広島大会

期 日 令和4年10月26日(水)～28日(金)

会 場 広島県庁本館講堂(広島市中区基町10-52) ほか

スローガン 多様性を生み出し“百万一心”の心根で未来をつくる社会教育!!

研究主題 これからの時代を見据えた学びのデザイン

～ニューノーマル時代における社会教育の在り方～

- ・第53回関東甲信越静岡社会教育研究大会 山梨大会

期 日 令和4年11月10日(木)～11日(金)

会 場 甲府総合市民会館(山の都アリーナ)(山梨県甲府市青沼3-5-44) ほか

スローガン 語ろう 甲斐の国やまなして

～人を結ぶ これからの社会教育～

4 東京都教育委員会との連携・協力の推進

第4号議案 令和4年度一般会計収入支出予算(案)について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

令和4年度一般会計収入支出予算(案)

収入

(単位：円)

区分 科目	令和4年度 当初予算額 (a)	(参考) 令和3年度 予算額 (b)	増△減 (a-b)	(参考) 令和3年度 決算額	備考
分担金	725,000	725,000	0	725,000	25,000×29市町
繰越金	581,417	711,906	△130,489	711,906	前年度からの繰越金
繰入金	805,279	0	805,279	0	特別会計からの繰入金
雑収入	26,000	26,000	0	23,911	社教情報売上手数料 預金利息
合計	2,137,696	1,462,906	674,790	1,460,817	

支 出

(単位：円)

区分 科目	令和4年度 当初予算額 (a)	(参 考)			備 考
		令和3年度 予 算 額 (b)	増△減 (a - b)	令和3年度 決 算 額	
定期総会費	152,750	80,750	72,000	65,954	会場使用料 72,000 議事録作成 57,750 消耗品等 23,000
理 事 会 役員会費	225,550	199,750	25,800	87,376	会場使用料 25,800 議事録作成 189,750 消耗品等 10,000
交流大会費	94,450	68,750	25,700	52,110	会場使用料 25,700 議事録作成 57,750 消耗品等 11,000
ブ ロ ッ ク 活 動 費	270,000	0	270,000	210,053	54,000×5ブロック
活動記録等 作成費	161,700	145,000	16,700	134,750	印刷製本代 161,700
分 担 金	100,000	101,000	△1,000	100,220	(一社)社教連分担金
総 務 費	55,000	65,000	△10,000	48,937	役員行動助成金 10,000 通信運搬費 35,000 消耗品等 10,000
調 査 研 究 ・ 研 修 費	130,000	100,000	30,000	80,000	講師謝礼 交流大会 100,000 令和4年度定期総会 30,000
特 別 会 計 繰 出 金	0	370,000	△370,000	100,000	令和3年度関東甲信越 静社会教育研究大会
予 備 費	948,246	332,656	615,590	0	令和3年度特別会計からの繰 入れ(805,279円)を含む。次の 東京大会のために出来る限り 残しておくことが望ましい。
合 計	2,137,696	1,462,906	674,790	879,400	

議案第5号 令和4年度役員（案）について

○ このことについて、次のとおり提案し、承認を求める。

1 会長・副会長・会計

役職名	氏名	所属	備考
会長	谷部 憲一	昭島市	
副会長	篠崎 光正	調布市	
	吉田 和夫	町田市	
会計	松本 智子	昭島市	

2 理事

理事	会長市2名、他市町（28市町）各1名	計30名
----	--------------------	------

3 会計監査

役職名	氏名	所属	備考
会計監査	遠藤 隆一	あきる野市	
	高橋 和男	西東京市	

4 ブロック幹事

ブロック	議長氏名	幹事市町名	備考
1	野村 亮	福生市	
2	倉持 伸江	立川市	
3	土屋 和子	日野市	
4	（未定）	小平市	改選予定のため
5	（未定）	武蔵野市	改選予定のため

(参 考)

令和4年度～令和6年度の役員輪番表

役 職 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会 長	昭 島 市	調 布 市	町 田 市
副 会 長	調 布 市	町 田 市	小 金 井 市
	町 田 市	小 金 井 市	小 平 市
会 計	昭 島 市	調 布 市	町 田 市
会 計 監 査	あきる野市	瑞 穂 町	奥 多 摩 町
	西 東 京 市	日 の 出 町	八 王 子 市

○ 輪番について

(1) 市制施行順とする。

(2) 平成6年度から副会長を2年間務めた市が会長市となる。

(3) 町が輪番の時は、副会長を1年務める。この場合、副会長は市と町で務め、市は翌年会長市になる。

(4) 定期総会の議長は、前年度会長市が務める。

(5) 会長市と会計監査が重複して務めることはできない。

**第6号議案 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会にかかる
令和3年度実行委員会について**

○このことについて、次のとおり報告する。

1 実行委員長・副委員長・会計

役職名	氏名	所属	備考
委員長	長畑 誠	府中市	令和3年度会長市
副委員長	谷部 憲一	昭島市	令和3年度副会長市
	篠崎 光正	調布市	令和3年度副会長市
会計	中村 洋子	府中市	令和3年度会長市

2 委員

No.	氏名	所属	備考
1	板垣 文彦	武蔵野市	平成30年度会長市
2	田中 雅文	三鷹市	令和元年度会長市
3	宮野 良一	青梅市	令和2年度副会長市 令和3年度第一ブロック幹事市
4	齊藤 イト子	武蔵村山市	令和3年度第二ブロック幹事市
5	安東 道正	稲城市	令和3年度第三ブロック幹事市
6	杉本 みさ子	東村山市	令和3年度第四ブロック幹事市
7	塚越 博道	狛江市	令和3年度第五ブロック幹事市

3 会議

No.	項目	参加者 (人)	テーマ・内容
1	第8回実行委員会 ※オンライン開催 開催日：5月18日(火) 時間：13:30~15:30	24	(1) 開催方法について (2) 分科会について (3) 開催要項について (4) 協賛金募集について (5) 大会冊子及び大会報告書について

No.	項 目	参加者 (人)	テーマ・内 容
2	第9回実行委員会 ※オンライン開催 開催日：7月7日(水) 時 間：14:00～16:00	24	(1) ライブ配信の検討結果について (2) 大会冊子・大会報告書について (3) 基調講演・トークセッションについて (4) 協賛金について (5) 東武トップツアーズとの委託について (6) 録画配信開催（会場参加なし）の判断基準等について
3	第10回実行委員会 ※オンライン開催 開催日：8月26日(木) 時 間：10:00～12:00	25	(1) 録画配信（ホームページでの公開方法等）について (2) 基調講演・トークセッションについて (3) 協賛金について (4) 東武トップツアーズとの委託について (5) 大会冊子について (6) 大会報告書について (7) 当日スタッフについて (8) 予算（案）について
4	第11回実行委員会 ※オンライン開催 開催日：9月27日(月) 時 間：10:00～12:00	23	(1) 録画配信（録画及びホームページでの公開方法等）について (2) 開会行事・閉会行事について (3) 基調講演・トークセッションについて (4) 協賛金について (5) 東武トップツアーズとの委託について (6) 大会冊子について (7) 大会報告書について (8) 当日スタッフについて (9) 予算（案）について
5	第12回実行委員会 ※オンライン開催 開催日：10月26日(火) 時 間：10:00～12:00	28	(1) 録画配信について (2) 開会行事・閉会行事について (3) 基調講演・トークセッションについて (4) 東武トップツアーズ関係について (5) 大会冊子について (6) 大会報告書について (7) 当日スタッフについて (8) 自然災害への対応について
6	第13回実行委員会 ※オンライン開催 開催日：2月21日(月) 時 間：10:00～11:30	24	(1) 録画映像配信結果及び今後の東京大会ホームページについて (2) 東武トップツアーズとの委託について (3) 大会報告書について (4) 大会報告書の配布先及び部数について (5) 決算について (6) 実行委員会アンケートの結果について

4 大会内容・参加者数

別紙「令和3年度 第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会 開催要項」、「市町別参加者数」のとおり

令和3年度 第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会 開催要項

1 大会スローガン

明日に向け 学びの輪を広げよう！！

～地域の魅力 グローバル社会で再発見～

2 開催趣旨

私たちは、今、人生 100 年時代に向け、未来志向の社会教育を考えていかなければなりません。

社会教育は、人・つながり・地域をはぐくみ、よりよい社会を形成することが出来るものだからです。

大会スローガン「明日に向け 学びの輪を広げよう！！」は、人生 100 年時代のこれからの未来を表現し、社会教育＝学びが広がっていくことをイメージし、人や地域が繋がっていくことを目指します。

これまで、それぞれの地域では、豊富な人材と魅力あふれる多くのコミュニティにより様々な取り組みが行われてきました。しかしながら、超高齢社会が進み、コミュニティの弱体化が叫ばれるようになり、最近では、新型コロナウイルス感染症がそれに追い打ちをかける事態となっています。そして、社会教育が得意とする、顔と顔を突き合わせてのコミュニケーションがとりづらくなり、コミュニティの先細りへの不安が地域に広がってきています。

そのような中、インターネットを活用した新しいコミュニケーションの取り方が広がりを見せており、新しい地域をつながり、社会教育の方法を模索しなければなりません。人々によってはぐくまれた地域の魅力を再発見する必要があります。東京大会が、地域の活性化に向けた新しい社会教育活動のきっかけとなるような大会になれば幸いです。

3 主催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
東京都市町村社会教育委員連絡協議会、
令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会

4 後援

東京都教育委員会、府中市教育委員会

5 期日

令和3年11月11日（木）

6 会場

府中の森芸術劇場（東京都府中市浅間町1-2 TEL：042-335-6211）
京王線東府中駅北口下車徒歩7分
[新宿駅から約25分、京王八王子駅から約20分]

7 参加対象

東京都内の社会教育委員および社会教育・生涯学習・地域活動に関心のある方

8 参加費

一人 3,000 円 (大会資料代として)

9 大会日程

【受付】 11:30~12:30

○アトラクション (12:30~12:45)

・元気一番!!ふちゅう体操 (参加型アトラクション)

○開会行事 (13:00~13:25)

・開会の言葉
・主催者挨拶
・来賓祝辞
・歓迎の言葉

○基調講演 (13:30~14:30)

・演題「みんながつくる〈社会〉へ
ー人生100年、AI、そしてポストコロナ時代の社会教育ー」
・講師

東京大学教授 牧野 篤 氏



○トークセッション (14:45~15:45)

・コーディネーター

東京学芸大学准教授・立川市生涯学習推進審議会委員 倉持 伸江 氏

・登壇者

東京大学教授 牧野 篤 氏

演出家 (ミュージカルアニーほか)・調布市社会教育委員 篠崎 光正 氏

東海大学准教授・昭島市社会教育委員 二ノ宮リム さち 氏

日本大学文理学部講師・町田市社会教育委員 吉田 和夫 氏

○質疑応答 (15:45~16:15)

○閉会行事 (16:20~16:25)

・主催者挨拶
・閉会の言葉

10 その他

大会ホームページ (<https://syakaiky.wixsite.com/website>) にて、報告書 (抜粋) を期間限定で公開いたします。

◆市町別参加者数

(1) 市町別参加者数及び録画映像再生回数

ブロック	市町名	人数	ブロック	市町名	人数	
第一ブロック	青梅市	9	第四ブロック	小平市	10	
	福生市	6		東村山市	8	
	羽村市	7		西東京市	4	
	あきる野市	5		清瀬市	2	
	瑞穂町	6		東久留米市	5	
	奥多摩町	4		第五ブロック	武蔵野市	6
	日の出町	9			三鷹市	15
第二ブロック	立川市	3	府中市		16	
	昭島市	11	調布市		14	
	国分寺市	7	小金井市		9	
	国立市	5	狛江市		9	
	東大和市	7	合計		201	
	武蔵村山市	5	再録生画 回映像	第1部	463	
第三ブロック	八王子市	5	第2部	233		
	町田市	2	※参加者数には、講師を除いたトークセッション登壇者の人数も含まます(所属市町別)。			
	日野市	0	※録画映像再生回数は、令和3年12月1日から令和4年1月31日までの期間に再生された回数の合計です。			
	多摩市	2				
	稲城市	10				

(2) その他

種別	人数	備考
主催者	1	(一社) 全国社会教育委員連合副会長
来賓	2	・東京都教育庁地域教育支援部主任社会教育主事 ・府中市教育委員会教育長
講師	1	基調講演
合計	4	